



関中央ロータリークラブ

2017-2018 WEEKLY REPORT

例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

会長 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017～2018年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017～2018年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1915回例会 2017年10月5日（木）

卓話 関市福祉部 子ども家庭課 課長 島田 美佳様

テーマ 「一人親家庭子ども支援」 担当 社会奉仕委員会

前例会の記録

第1914回 2017年9月21日（木）

浄土真宗 本願寺派 円光寺 藤村紫園様

テーマ 「私たちと宗教」

／担当 ニコボックス委員会

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*お客様の紹介

浄土真宗 本願寺派 円光寺 藤村紫園様

小笠原保様

（高井会員の奥様） 高井温都子様

（加納会員の奥様） 加納 啓 視様

*会長あいさつ 波多野好文会長

少し前になりますが、9月10日の日曜日には、小中学生の児童生徒科学作品展の入賞作品の表彰式に行ってきました。要するに夏休みの自由研究の中から優秀なものの発表で、その中から小学生3人に賞状とトロフィーを渡してきました。この作品展は毎年協賛をしているのでよばれたようですが、わかくさプラザのホールに作品が並



べてあり、閲覧が自由だったので少し見させてもらいましたが、いろんな作品があり、子どもの発想には驚かされました。定番のザリガニやセミ・かぶとむしの観察の他、バナナの寿命を延ばす方法とか、ペットの犬の鼻息の観察までバラエティーに富んだ作品が並んでいました。私も昔何かの研究で賞をもらったことが有った様ですが、遠い昔のことで、何でもらったか、忘れました。

さて、その次の先週の日曜日17日は関市の発明工夫展の表彰式で、これも当クラブが協賛していて、関中央ロータリークラブ会長賞と環境保全委員長賞を渡す予定でした。毎年いろんな発明があり大変楽しみでしたが、台風の影響で中止となり大変残念でした。

その台風ですが、この地方からは少し離れた所を通り、風は吹きましたが、大きな被害等はなく、よかったです。この台風ですが「台風」という呼び名が正式にできたのは、昭和32年のことで、それまでは、「野分」と言っていたそうです。枕草子や源氏物語にも「野分」はできますが、野を分ける強

い風をさして、「台風」とはどうも定義が違っていたようです。またなぜ「台風」というかは諸説あってこれといったものはないようです。

現在の定義では、北太平洋に発生する熱帯低気圧で最大風速が17m/s以上のものとなっています。さて、昨日20日は彼岸の入りでした。「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、最近涼しい日も多くなりました。又、彼岸花も土手で大変きれいな花を咲かせています。

この彼岸花たいがい赤ですが、白、黄色、ピンク、クリーム色があるようです、この彼岸花、花言葉は赤色が「情熱」「独立」「再開」・白色が「思うはあなた一人」「また会う日を楽しみに」・黄色が「追想」「深い思いやりの心」という反面、花が咲いた後に葉っぱが伸び、秋に咲いて春に枯れるという通常の草花とは逆の生態やその葉と花と一緒に見ることがない性質から「葉見ず花みず」とよばれ、昔の人は死人花とか地獄花と呼んでいました。又、葉や根に毒があることや、摘んで帰ると家が火事になるとか、死人が出るとか日本ではあまり縁起のいい花ではありませんでした。しかし外国では別名の「曼珠沙華」はサンスクリット語では「天上に咲く紅い花」といってよいことの前兆といわれています。

*卓 話

浄土真宗 本願寺派 円光寺

藤村紫園様

テーマ 「私たちと宗教」



私は浄土真宗本願寺派(西本願寺)

の僧侶で、藤村紫園と申します。8月はお盆でしたし、3月9月は春秋のお彼岸です。どれも仏事(仏教行事)です。私たちにとって、宗教とはとても身近なものです。皆さんはご自身の宗教・宗旨・宗派はご存知でしょうか。日本人の多数は仏教徒であるが、自分が仏教徒であると認識している人はどのくらいか。仏教徒と分かっているても何宗なのか、自分のお寺がどこかを知らない人も多く見られます。

最近ですと、無宗教という言葉を目にする人が増えました。興味がないから無宗教と言っている人もあれば、関係する宗教がないから無宗教と言い、葬儀をしないという人もあります。無宗教と言いつ

つも先に述べた仏事には触れていたり、神社へ参拝したりと実は宗教に関わっているわけです。日本人にとっての宗教観と海外での宗教観は大きく違うと言われます。海外では宗教=生活であるのに対して、日本では宗教は何かあった時にのみ必要としているように思います。お寺に対してもやはり何かあった時でしょう。大多数の人にとってお寺は、地域の風景の一部になっているようです。どうしてもお寺は葬儀や法事のイメージが強いのと思います。本来、お寺とは檀家さん・門徒さんのものです。私たち僧侶は皆さんのお寺に住み、留守番をしているわけです。多くの方がお寺はそこに住む僧侶のものと勘違いされているようです。お寺が皆さんにとって、身近な存在になることを願います。

先日、葬儀社よりお手次のお寺さんがいないお宅の葬儀をお願いしたいと依頼がありました。臨終勤行(枕経)に向かう最中、葬儀社より宗旨が違いましたと電話が入ったのです。遺族は何宗か分からず、親族に教えてもらうということは都会でたまにある話です。日頃から自身の宗教・宗旨を知り、お寺と関わりを持つのは大事なことでしょう。そもそも、仏教を開かれたお釈迦さまは亡くなった人に教えを説いたわけではなく生きていた人に説かれています。だからこそ宗教は今生きている私のためであるのです。宗教とは私の拠り所であると。

最近家族葬が流行っています。僧侶も葬儀社も勧めているわけではありません。むしろ反対です。こじんまりとすることが今の社会の流行であり、結婚式や葬儀・法事も身内だけで行うことが増えています。家族葬に良い点はないと思います。やはり縁ある人を呼び、共に亡き方を偲ぶのが葬儀です。私たちは縁によって人生の全てが成り立ちます。今回のお話を頂いたことも様々な縁によってのことです。何か一つでも違っていれば今回のお話しも無かつたはず。もっと言うと今の私はありませんし、皆さんも同じことが言えるはず。縁起が良い、縁起が悪いという言葉はよく耳にします。縁起とは字の通り、縁によって起こることで良いも悪いも無いわけです。

普段使っている言葉が仏教用語ということもあり

ます。宗教とは日々気付かない中に関わりがあり、
実は身近なことなのです。今回の尊いご縁をありが
たく思います。

***出席委員会**

会員数31名、本日の出席20名です。

***ニコボックス委員会**

・会長・副会長・幹事

円光寺 藤村紫園様 卓話宜しく願います。又、
会員の奥様方の参加も頂き歓迎いたします。

・高井良祐君

円光寺の藤村紫園様、小笠原保様ようこそおいでく
ださいました。本日の卓話楽しみにしています。又、
家内もお邪魔しました。よろしく願います。

・伊佐地司君

妻の誕生日に虎屋さんのおいしいお菓子をいただき
ありがとうございました。妻は虎屋さんのお菓子が
大好きで「太る、太る」と言いながらあつという間
に完食しました。

20名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

9月28日、I GMを味の孫六で18時30分から開催
します。関係者の方はご出席をお願いします。

***メイクアップ報告**

9/14 理事会・役員会、IM実行委員会

伊佐地金嗣君、石原妙生君、小川糧司君、神谷秀幸
君、佐藤忍君、高井良祐君、西田健一君、長谷川修
君、波多野篤志君、波多野好文君、古田博文君、古
田育則君、山田文夫君、山本義樹君

<次例会の案内>

第1916回 2017年10月12日(木)

卓話 関市役所 危機管理課長 波多野 一人様
テーマ 「関市の防災について」

担当：米山記念奨学委員会